



多摩・島しょ

history of tama & tōsho

とっておき歴史発見

第9回 青梅市



身近な場所で歴史を発見！

今回はわたげのボクが『青梅市吉川英治記念館』と『青梅夜具地』を紹介するよ。

青梅市吉川英治記念館



昭和初期を中心に国民文学作家として活躍し、「三国志」や「宮本武蔵」などの作品で知られる吉川英治は、青梅市の名誉市民なんだ。

青梅市吉川英治記念館は、英治が生涯で一番長く住んだ主屋と、東宮御所などを手掛けた谷口吉郎設計の展示館、広大な庭園を中心に構成されているよ。

特に昨年、市の施設としてリニューアルオープンしてから常時公開となった主屋「草思堂」は、明治初期に建てられた養蚕農家を吉川英治が住居として改造し、明治中期に建てられた洋風の書齋と共に青梅市を代表する近代和風建築として記念館の見どころの一つとなっているんだ。

青梅夜具地



大正末期から平成11年頃まで青梅で織られていた布団地などの木綿織物のことを「青梅夜具地」というよ。昭和初期の頃から青梅は木綿夜具地を中心に一大織物生産地となったんだ。

昭和20年代には青梅夜具地は全国の夜具地シェアの6割を占め、織機のガチャっとする音から「ガチャ萬景気」といわれる全盛期を迎えたんだって。

現在では青梅夜具地は生産されていないけど、夜具地を再利用したノートやバッグなどが販売されているよ。

【現地案内】

◆ 青梅市吉川英治記念館

(青梅市柚木町1-101-1)

- ・電話 0428-74-9477
- ・開館時間 10:00 ~ 17:00
(最終入館 16:30)
- ・休館日 毎週月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
- ・駐車場あり
- ・JR青梅線「二俣尾駅」より徒歩15分
- ・JR青梅線「青梅駅」より都営バス「吉野」行きにて「柚木」バス停下車徒歩1分

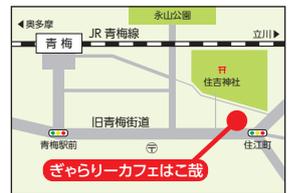


青梅夜具地を再利用したノートやバッグが購入できるお店

◆ ぎやらりーカフェはこ哉

(青梅市住江町7)

- ・電話 0428-22-0429
- ・営業時間 10:00 ~ 18:00
- ・定休日 月曜日・火曜日
- ・JR青梅線「青梅駅」より徒歩5分



【情報・写真提供】 青梅市商工観光課

本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。

問合せフォーム▶



【発行日】2021年12月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています